

授業と評価の年間計画

教科	理数	科目	スーパーサイエンス
使用教科書（発行所）	独自教材		
履修条件 対象生徒	必修 理数科 1年		
学習目標	1 自然科学に対する興味・関心を高め、探究する能力や表現力を身に付ける。 2 主体的に活動する能力を向上させ、プレゼンテーション能力を身に付ける。 3 将来の科学技術系人材を目指し、モチベーションを高める。		
学習方法	<b>【授業】</b> 理科・数学分野を中心に、実験・実習中心の授業、大学との連携授業、課題研究の3つの内容がある。実験・実習では教科書を超えた内容にも触れ、レポートを作成する。連携授業では大学の先生の講義を聞くだけでなく、事前・事後学習にも取り組み、報告書を作成する。課題研究は実験等で得た成果を発表できるようにまとめ、質疑応答能力も身に付ける。さらに、国際性の向上にも取り組む。 <b>【家庭】</b> レポートなどの課題を提出期限に間に合うように作成する。また、普段から最先端の科学技術系ニュースにも気を付けておく。 <b>【特別行事】</b> 外部講師による講演会、大学での体験活動、海外研修、科学技術系施設での研修などを随時実施する。その都度、事前・事後学習と報告書作成に取り組む。		
学習計画 と ねらい	1 1学期 (1) 理科各分野と数学の実験・実習 (2) ブレインストーミング (3) 文献調査 (4) S S交流会	・基礎的な技術や知識を習得する。 ・課題研究のテーマ設定のためにブレインストーミングの手法を身に付ける。 ・課題研究のテーマ設定のために文献調査を行う。 ・聞く態度や質疑応答の姿勢を身に付ける。	
	2 2学期 (1) 課題研究テーマ設定と研究開始 (2) 愛媛大学連携授業・施設見学 (3) 2年生課題研究発表会の参観 (4) 国際性育成のための具体的取組	・課題研究の方法と技術を習得する。 ・科学技術への興味・関心の向上を図る。 ・レポートの作成能力を身に付ける。 ・発表や質疑応答の方法を学習する。 ・インターネットの利用技術の向上を図る。 ・意欲的に取り組む姿勢を育成する。 ・本物に触れる体験を積む。	
	3 3学期 (1) 課題研究の促進とまとめ (2) 英語プレゼン発表会 (3) 課題研究発表会	・研究の深化と考察の方法について学ぶ。 ・英語力やコミュニケーション能力の向上を図る。 ・プレゼンテーションおよびポスター発表の技能を身に付ける。	
評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	自然の事物・現象について、基本的な原理・法則を理解し、観察・実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に整理することができる。	自然の事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、科学的に考察し、的確に表現することができる。	自然の事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとする科学的態度を身に付けている。
評価方法	①取り組む姿勢、②提出レポート、③研究発表の内容、④研修態度とその成果、以上を総合的に判断して評価する。		
その他	スーパーサイエンスハイスクール指定校である本校独自の学校設定科目である。		